

チリ

2021年8月26日

海外調査部・サンティアゴ事務所

2020年のチリ経済は、新型コロナウイルス感染症が国内で猛威を振るった影響で、実質GDP成長率はマイナス5.8%と、1982年にマイナス11.0%を記録して以降最低を記録した。貿易は、最大相手国である中国の経済回復の後押しを受け、輸出は前年比で2.6%増加したものの、国内の消費活動の停滞により、輸入が15.4%減少した結果、貿易黒字が拡大した。2020年の対内投資案件総数は、前年比24%減の86件で、エネルギー分野への投資が目立った。今後も、再生可能エネルギーの振興に適した地理的な特徴と、政府が推し進める国際的に価格競争力を持つグリーン水素の生産体制の構築へ向けた取り組みによって、同分野への活発な投資が期待される。

■貿易黒字は大幅に拡大

2020年の貿易（通関ベース）は、輸出が前年比2.6%増の717億2,800万ドル、輸入が15.4%減の590億3,200万ドルだった。貿易収支は126億9,600万ドルの黒字で、黒字幅は前年の8,700万ドルから大きく拡大した。

輸出を品目別にみると、鉱産物は前年比9.7%増の419億2,200万ドルで、中でも銅は最大の消費国である中国の経済回復に起因する国際価格の上昇（前年比3.0%増）を背景に、8.3%増と好調だった。農林水産物は、果物の輸出減が響き、6.0%減の62億8,500万ドルだった。果物については、サクランボは前年に引き続き好調だったが、ブドウ、リンゴ、ブルーベリーが減少した。サーモン、マスがともに2ケタ減となった一方、豚肉は40.5%増と大幅に増加した。ボトルワインは、主な輸出先の中国や米国向けが減少したため全体で3.9%減となったが、ブラジル、英国、日本向けはそれぞれ増加した。工業品は、前年比5.8%減の235億2,100万ドルだった。

輸入を品目別にみると、工業品は前年比14.1%減の537億100万ドルだった。中間財は石油やディーゼルなどのエネルギー製品が大幅に減少した。また、政府により課された国内の移動制限などの影響を受け、自動車、衣類、履物などの消費財への需要が減少し輸入も減った一方で、テレワークの推進や、教育機関におけるオンライン授業の常態化により、携帯電話やコンピューターなどの情報端末の需要が高まり、これら製品の輸入増を後押しした。

輸出を主要地域別にみると、アジア向けが全体の6割弱を占め、国別では中国（構成比：38.2%）、米国（13.4%）、日本（8.6%）の順だった。中国向けは銅関連製品が大幅に増加し、前年比20.8%増の高い伸び率を記録した。欧州向けは1.1%増で、ドイツ向けは銅類の輸出増により16.2%増、フランス向けは航空機の輸出があり前年比51.4%増となった。米州向けは5.6%減で、主に米国とブラジル向けのサーモンが減少した。

輸入を主要地域別にみると、米州からが42.6%を占め、国別では中国（構成比：27.8%）、米国（17.8%）、ブラジル（7.3%）の順だった。米国とブラジルからは主にエネルギー製品の輸入が減少した。2020年は、国内の自動車販売台数が新型コロナ禍での外出規制や、販売店舗の営業時間の短縮などにより、前年比で30.6%減と大幅に落ち込み、それに伴ってアジアでは日本、韓国、インド、タイからの、欧州ではドイツ、フランスからの自動車輸入が軒並み減少した。

■デジタル経済協定を締結

チリの2020年の通商協定による往復貿易カバー率は95.0%に達した。1月には、チリ、シンガポール、ニュージーランドの3カ国間で、デジタル経済連携協定（DEPA）が締結された。DEPAは、国境を越えたモノやサービスの取引におけるデータの流通、個人情報保護の保護、デジタル格差の解消など、デジタル経済における貿易促進を目的としている。DEPA承認法案は、2021年5月19日にチリ下院を通過し、同年7月時点では、上院での審議が続いている。署名済みかつ未発効の多国間協定としては、他にCPTPPがあるが、2019年10月の反政府デモ、その後の新型コロナ禍により、同法案の審議再開のめどは立っていない。他の交渉中の案件としては、パラグアイとのFTA、インドとの部分到達協定の拡大、EFTAとの既存協定の近代化などがあり、引き続きオープンな通商政策が進められている。

■エネルギー分野への投資が19件と最多

M&Aの調査を行っているランドマーク（Landmark）の発表によると、2020年のM&A案件総数は86件で、前年比24%減となった。うち、エネルギー分野の投資が19件と最も多く、次いで不動産10件、金融サービス9件と続く。

金額が公表されている案件で最も大きかったのは、中国の国家电网が、米国センプラ・エナジーが

表1 チリの主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位：100万ドル、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2019年		2020年		2019年		2020年	
	金額	構成比	金額	伸び率	金額	構成比	伸び率	
農林水産物	6,689	6.285	8.8	△ 6.0	1,309	1,525	2.6	16.6
果物	6,008	5,647	7.9	△ 6.0	199	226	0.4	13.9
鉱産物	38,221	41,922	58.4	9.7	5,949	3,806	6.4	△ 36.0
鉄・銅	34,240	37,776	52.7	10.3	-	-	-	-
石炭・石油・天然ガス	-	-	-	-	5,454	3,241	5.5	△ 40.6
工業品	24,979	23,521	32.8	△ 5.8	62,544	53,701	91.0	△ 14.1
加工食品類、飲料・アルコール類・たばこ	12,227	11,715	16.3	△ 4.2	6,117	6,212	10.5	1.6
繊維・衣類・革製品	535	393	0.5	△ 26.5	4,791	3,804	6.4	△ 20.6
木材・木製家具	2,335	2,226	3.1	△ 4.7	755	620	1.1	△ 17.8
セルロース・製紙	3,265	2,652	3.7	△ 18.8	1,142	928	1.6	△ 18.8
基礎化学製品・石油派製品・ゴム・プラスチック	3,436	2,975	4.1	△ 13.4	16,692	14,224	24.1	△ 14.8
鉄・鉄鋼、非鉄基礎産業	953	952	1.3	△ 0.0	2,376	1,844	3.1	△ 22.4
金属製品・機械・機器類、電気機器類、輸送機器	2,059	2,435	3.4	18.3	28,790	24,610	41.7	△ 14.5
合計（その他含む）	69,889	71,728	100.0	2.6	69,802	59,032	100.0	△ 15.4

[注] 輸出申告および輸入申告の数値を使用。

①：輸出額には、港での購入品が含まれる。

②：果実、鉱産物の輸出額は、一部推定値を含む。

③：中銀の統計では「農林水産物」に含まれる水産物は採取漁業によるもののみで、畜産物は工業製品に分類分けされている。

[出所] チリ中央銀行資料から作成

表2 チリの主要国・地域別輸出入<通関ベース>

(単位：100万ドル、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2019年		2020年		2019年		2020年	
	金額	構成比	金額	伸び率	金額	構成比	伸び率	
アジア	38,335	41,481	57.8	8.2	24,245	21,895	37.1	△ 9.7
日本	6,406	6,152	8.6	△ 4.0	2,438	1,224	2.1	△ 49.8
中国	22,692	27,412	38.2	20.8	16,527	16,390	27.8	△ 0.8
韓国	4,610	4,091	5.7	△ 11.3	1,441	1,010	1.7	△ 29.9
インド	1,201	754	1.1	△ 37.2	916	716	1.2	△ 21.8
欧州	9,263	9,367	13.1	1.1	12,016	9,886	16.7	△ 17.7
EU27	6,816	6,815	9.5	△ 0.0	10,463	8,544	14.5	△ 18.3
ドイツ	854	992	1.4	16.2	2,784	2,293	3.9	△ 17.6
スペイン	1,279	1,149	1.6	△ 10.2	1,670	1,439	2.4	△ 13.8
フランス	892	1,351	1.9	51.4	1,654	882	1.5	△ 46.7
米州	21,057	19,870	27.7	△ 5.6	31,194	25,146	42.6	△ 19.4
米国	9,558	9,625	13.4	0.7	13,735	10,531	17.8	△ 23.3
メルコスール	4,361	4,140	5.8	△ 5.1	10,036	8,541	14.5	△ 14.9
ブラジル	3,160	3,049	4.3	△ 3.5	5,647	4,284	7.3	△ 24.1
アルゼンチン	599	618	0.9	3.2	3,535	3,323	5.6	△ 6.0
太平洋同盟	3,783	3,132	4.4	△ 17.2	4,489	3,818	6.5	△ 14.9
メキシコ	1,344	1,042	1.5	△ 22.5	2,041	1,617	2.7	△ 20.8
ペルー	1,799	1,505	2.1	△ 16.3	1,190	1,096	1.9	△ 7.9
合計（その他含む）	69,889	71,728	100.0	2.6	69,802	59,032	100.0	△ 15.4

[注] 輸出申告および輸入申告の数値を使用。

①：メルコスールには、ブラジル、アルゼンチン、パラグアイ、ウルグアイが含まれる。

②：太平洋同盟には、メキシコ、コロンビア、ペルーが含まれる。

[出所] チリ中央銀行資料から作成

表3 チリのFTA発効・署名・交渉状況

(単位: %)

FTA	発効日	チリの貿易に占める構成比 (2020年)			
		往復	輸出	輸入	
発効済み	中国、FTA 深化協定 (2019年3月発効)	2006年10月1日	34.0	39.0	28.0
	米国	2004年1月1日	15.0	13.0	18.0
	EU27	2003年2月1日	12.0	9.4	14.0
	メルコスール〔経済補完協定(ACE35)〕	1996年10月1日	9.6	5.7	14.0
	日本 (EPA)	2007年9月3日	5.7	8.7	2.1
	太平洋同盟、追加議定書	2016年5月1日	5.2	4.3	6.5
	韓国	2004年4月1日	3.9	5.6	1.7
	カナダ、FTA 深化協定 (2019年2月発効)	1997年7月5日	1.3	1.3	1.4
	インド、部分到達協定、拡張協定 (2017年5月発効)	2007年8月17日	1.1	1.1	1.2
	エクアドル〔経済補完協定(ACE65)〕	2010年1月25日	1.0	0.6	1.5
	EFTA	2004年12月1日	1.0	1.2	0.7
	英国	2021年1月1日	0.9	0.8	0.9
	ベトナム	2014年1月1日	0.8	0.3	1.4
	ボリビア〔経済補完協定(ACE22)〕	1993年4月6日	0.7	1.1	0.2
	タイ	2015年12月5日	0.7	0.5	0.8
	トルコ	2011年3月1日	0.5	0.4	0.5
	中米5カ国	[注]	0.4	0.6	0.3
	オーストラリア	2009年3月6日	0.4	0.3	0.5
	マレーシア	2012年2月25日	0.3	0.2	0.4
	P4 (EPA)	2006年11月8日	0.2	0.1	0.3
	インドネシア〔CEPA (包括的経済連携協定)〕	2019年8月10日	0.2	0.1	0.3
	パナマ	2008年3月7日	0.1	0.2	0.1
	香港	2014年10月9日	0.1	0.1	0.1
	ベネズエラ〔経済補完協定(ACE23)〕	1993年7月1日	0.1	0.1	0.0
	キューバ〔部分到達協定(ACE42)〕、追加議定書	2008年6月27日	0.0	0.0	0.0
	合計 30協定 (65カ国)	-	95.0	94.6	95.5
署名済み	ブラジル	-	-	-	-
	CPTPP	-	-	-	-
	シンガポールとニュージーランド、デジタル経済連携協定 (DEPA)	-	-	-	-
交渉中	バラグアイ	-	-	-	-
	EFTA、近代化協定	-	-	-	-
	インド、部分到達協定の拡大	-	-	-	-
	韓国、FTA 深化協定	-	-	-	-
	インドネシア、CEPA (サービスの章)	-	-	-	-
	EU、FTA 深化協定	-	-	-	-

[注] 構成比の算出には、輸出FOB価格と輸入CIF価格を使用。
 ①: 太平洋同盟には、メキシコ、コロンビア、ペルー、チリが含まれる。
 ②: 追加議定書は、既存の2国間FTAをベースとする広域FTA。
 ③: 中米5カ国には、コスタリカ (2002年2月14日発効)、エルサルバドル (2002年6月1日発効)、ホンジュラス (2008年7月19日発効)、グアテマラ (2010年3月23日発効)、ニカラグア (2012年10月19日発効) が含まれ、発効日は異なる。
 ④: P4には、チリ、ニュージーランド、シンガポール、ブルネイが含まれる。
 ⑤: キューバとは、2010年11月11日に追加議定書が発効した。
 ⑥: メキシコ、コロンビア、ペルーについては太平洋同盟として、アルゼンチン、ウルグアイについてはメルコスールとして構成比は計算される。
 [出所] チリ国内法規およびSUBREI資料などから作成

EUの英国脱退についての標記が出所の注にはないが、英国が単体で記載されているため、EU27と理解。

事例や、丸紅とみずほリースが半額ずつ出資するエムジーリースが、チリの水道会社アグアス・ヌエバスの株式50%を取得した事例などがみられた。

100%保有するチリ配電大手チルキンタの全株式を買収した案件で、投資額は22億6,300万ドルだった。他にも、カナダのイネルジェックスがアタカマ州の太陽光発電事業を6,600万ドルで買収した案件や、韓国のDLエナジーが三菱商事の保有するアントファガスタ州コ克蘭火力発電所の株式全40%を取得した案件などがあり、エネルギー分野でのM&Aが活発に行われた。

日系企業による買収案件では、豪農薬大手ニューファームがブラジル、アルゼンチン、コロンビア、チリに有する子会社を住友化学が総額11億8,800万ドルで買収した

表4 チリの主な対内直接投資案件 (2020年)

(単位: 100万ドル)

業種	企業名	国籍	時期	投資額	概要
エネルギー	カナディアンソーラー	カナダ	2020年2月	非公開	アラウカニア州、マウレ州の太陽光発電プロジェクトを買収。
	イネルジェックス	カナダ	2020年5月	66	アタカマ州にある68MWの太陽光発電事業 (11年間の電力供給契約を含む) を買収。
	国家電網	中国	2020年6月	2,263	米国センブラ・エナジーが保有するチリ配電大手チルキンタの株式100%を買収。
	DL エナジー	韓国	2020年7月	非公開	三菱商事が所有するアントファガスタ州のコ克蘭火力発電所の株式全40%を取得。
保険	ムチュア・マドリレーニャ	スペイン	2020年11月	127	バンコ・デ・クレディト・エ・インベルシオネス (BCI) の保険事業の20%を買収。これにより以前の買収と合わせて同事業の60%を所持。
農業	住友化学	日本	2020年4月	非公開	豪農薬大手ニューファームのブラジル、アルゼンチン、コロンビア、チリの子会社を買収。
水道	エムジーリース	日本	2020年4月	非公開	日本のINCJが所持するチリ水道会社アグアス・ヌエバスの株式50%を取得。これによりアグアス・ヌエバスの株主構成は丸紅 (50%)、エムジーリース (50%) に。
	アルゴンキン・パワー・アンド・ユーティリティーズ	カナダ	2020年10月	162	エッサルの株式51%を所有するアグアス・アンディナスの子会社インベルシオネス・イベルアグアスを買収。加えてアルゴンキン・パワー・アンド・ユーティリティーズはエッサルの株式42.96%を買収し、同社のエッサルの総取得株式は93.96%に。
配送	チャスキ	ペルー	2020年4月	非公開	アプリで配送業を行うチリのトドバを買収。
林業	グローバル・フォレスト・パートナーズ	米国	2020年6月	350	子会社であるフォレスト・トレグアレムを通じてマシサ・フォレストが所有する8万4,782ヘクタールの森林 (マシサ事業に林産物を供給する長期契約を含む) を買収。

[注] 業種別に表示。
 [出所] 各社発表および報道などから作成

■対日輸入は過去16年間で最低に

チリ側の統計によると、2020年の日本との貿易は、輸出が前年比4.0%減の61億5,200万ドル、輸入が49.8%減の12億2,400万ドルで、日本はチリにとって3位の輸出先、8位の輸入元だった。主な対日輸出品は銅鉱で、輸出全体の6割弱を占める。他の上位品目ではトラウト、大西洋サケ、ウニが前年比でそれぞれ7.5%増、97.0%増、12.8%増と好調だった一方、木材製品の輸出は減少した。農業政策調査庁(ODEPA)によると、2020年のワインの対日輸出額は前年比5.4%増の1億3,060万ドルであり、日本はチリにとって、中国、ブラジル、英国に次ぐ4位の輸出先となっている。

対日輸入は前年比でおよそ半分の規模に減少し、過去16年間で最低の輸入額となった。主な対日輸入品は、乗用車、重機、その関連製品で、乗用車は国内の需要減が影響し、重機やその関連製品は、鉱業・建設活動の一時停止などの影響を受け、前年比で大幅に減少した。

表5 チリの対日主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位: 100万ドル、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2019年		2020年			2019年		2020年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
銅鉱(精銅を含む)	3,456	3,584	58.3	3.7	乗用車(1500cc超3000cc以下)	700	344	28.1	△ 50.9
太平洋サケ(冷凍、頭・はらわた抜き)	627	502	8.2	△ 19.9	タイヤ(建設、産業車両用)	124	106	8.7	△ 14.0
モリブデン精鉱(焼いたもの)	364	253	4.1	△ 30.5	軽油、ディーゼル油	521	57	4.7	△ 89.1
トラウト(冷凍、フィレ)	213	229	3.7	7.5	シャシー(トラック用、有効積載量2トン超)	74	39	3.2	△ 47.1
木材チップ(ユーカリ・グロビユラス)	154	129	2.1	△ 16.1	鉄・非合金鋼のフラットロール製品(厚さ3mm未満)	30	37	3.0	23.8
太平洋サケ(冷凍、フィレ)	93	98	1.6	5.2	乗用車(1000cc超1500cc以下)	64	31	2.5	△ 51.6
リチウムの炭酸塩	-	98	1.6	全増	魚の油脂およびその分別物(肝油を除く)	22	30	2.4	38.3
大西洋サケ(冷凍、フィレ)	49	97	1.6	97.0	硫酸および発煙硫酸	45	20	1.7	△ 54.6
ウニ(冷凍)	84	95	1.5	12.8	貨物自動車(有効積載量2トン超)	34	18	1.5	△ 46.8
豚肉(冷凍、骨なし)	78	72	1.2	△ 7.1	フロントエンド型ショベルローダー(上部構造が360度回転するもの)	48	16	1.3	△ 65.9
木材チップ(ユーカリ・ニテンス)	63	69	1.1	8.8	乗用車(3000cc超)	26	16	1.3	△ 39.6
木材(松、針葉樹)	75	40	0.6	△ 46.9	フロントエンド型ショベルローダー	24	15	1.2	△ 40.4
粗銅及び電解精製用陽極銅	10	40	0.6	298.7	鉄または非合金鋼のフラットロール製品(厚さが0.5ミリメートル未満のもの)	9	14	1.2	65.6
ぶどう酒〔注〕	40	39	0.6	△ 1.2	鉄鋼製のストーブ(液体燃料用のもの)	21	13	1.1	△ 37.3
マス(冷凍、頭・はらわた抜き)	49	37	0.6	△ 25.4	ブルドーザーおよびアングルドーザー(無限軌道式のもの)	18	12	1.0	△ 33.9
合計(その他含む)	6,406	6,152	100.0	△ 4.0	合計(その他含む)	2,438	1,224	100.0	△ 49.8

〔出所〕チリ中央銀行資料から作成
〔注〕HSコード2204168の品目

主要経済指標

	2018年	2019年	2020年
①人口：1,946万人（2020年）			
②面積：75万6,227km ²			
③1人当たりGDP：12,990米ドル （2020年）			
④実質GDP成長率（%）	3.7	0.9	△ 5.8
⑤消費者物価上昇率（%）	2.6	3.0	3.0
⑥失業率（%）（10～12月）	6.7	7.0	10.3
⑦貿易収支（100万米ドル）	4,211	2,953	18,369
⑧経常収支（100万米ドル）	△ 11,640	△ 10,454	3,370
⑨外貨準備高（100万米ドル）	39,849	40,643	39,151
⑩対外債務残高（100万米ドル）	183,344	197,234	208,981
⑪為替レート（1米ドルにつき、 チリペソ、期中平均）	641.28	702.9	792.73

〔注〕①：推定値、④：2019年は暫定値、2020年は速報値、⑤：2018年は2013年=100とした場合の値、2019年、2020年は2018年=100とした場合の値、⑥：推計値、⑦：国際収支ベース（財のみ）、輸入はFOBゆえ表1、2と数値が異なる
〔出所〕①⑤⑥：チリ統計局 (INE)、②：チリ国会図書館データから算出、③⑨⑪：IMF、④⑦⑧⑩：チリ中央銀行

（お問い合わせ先）

海外調査部 米州課

ORB-latin@jetro.go.jp